

絵馬調査に関するデータベース項目の構築【Ⅲ】

佐々木祐輔^{*1} / 久世均

絵馬は日本人の心意世界の象徴ともいえる。その交歓は「祈願」と『報謝』の反復伝承によってなる。それは日本における年中行事の構成によってもうかがえる。たとえば、年頭の予祝儀礼、春の豊作祈願、秋の収穫感謝の儀礼をはじめ、その他いずれの行事も、濃淡はあっても、そうした性格を持っている。

また、定例の儀礼のほかにも、古くから臨時の祈願・報謝も行なわれていた。雨乞い、日乞いなどが、その代表的なものであった。こうした村落全体のかかわる事例には、共同祈願という形式をとっているが、時代が進み、個人的な悩みも多様化し、深刻化し、それに応じて個人祈願が顕著となり、ここに個人による「願掛け」と「礼参り」という儀礼の形式が一般の人に広がっていく。このような神仏への願掛けの方法として、まず願うことを心に念じて口の中で唱える。つぎに願掛けの内容をより具体的に示すため奉納物を捧げる。

この代表的なものに絵馬がある。(新潟県立歴史博物館、野堀正雄著、絵馬―生業絵馬より抜粋) 酒田市の郷土史家の高山順吉氏と筆者(佐々木)は、昭和50年頃より山形県庄内地方に残る絵馬の調査を実施している。今回岐阜女子大学通信制大学院の学びの中から、庄内地方に残る絵馬の悉皆調査を再度実施し、デジタル・アーカイブし記録するために、絵馬調査に関するデータベース項目及び絵馬のシソーラスを構築したので報告する。

<キーワード>絵馬, データベース項目, シソーラス, 調査, フィールドワーク

1. はじめに

山形県酒田市は、古くは酒田大火、近年はアカデミー受賞作品「おくりびと」の撮影地として、全国に知れ渡っている。

筆者(佐々木)は、酒田市の郷土史家の高山順吉氏と共に昭和50年代から地域にある神社・寺社に奉納されている絵馬の調査を実施している。

しかし、昭和52年10月29日に、酒田大火があり、多くの神社・寺社の絵馬が焼失し、筆者が調査時に記録した記録カードと写真だけが残った。その後、昭和59年に山形県教育庁の生涯教育推進事業として、山形県の神社・寺社に奉納されている、絵馬を調査し、長く残し、利用することを目的に計画され、山形県立博物館が「山形県の絵馬」として冊子を制作した。そのために、山形県を8ブロックに分けて、調査員・協力員・各地域の教育委員会が共に調査をした。山形県内で2,083点、その内、庄内地区では222点を報告している。(実際には862点を調査している。)

昭和50年代の絵馬の調査は、映像記録を残

していく場合、フィルム・現像・プリントと予算がかかり、カラープリントよりも白黒でのプリントが多く、主に文字情報での資料の制作であったのが現状であった。



図1 絵馬

しかし、現在は、インターネット等で、各地の博物館・資料館・文書館・図書館・美術館・図書館などで見ているように、遠く離れた場所でも見ることのできる環境が整いつつある。そ

ここで、再度庄内地域の絵馬をデジタル・アーカイブする調査・研究を行った。また、従来の調査では、絵馬に関する映像のメタ情報が不備であり、アーカイブして残すには、絵馬に関するデータベース項目やシソーラスを整備し、パブリック・ドメインとして共通したデータベース項目を構築することが急務となってきた。そこで、今後、絵馬の研究をする場合の共通のデータベース項目並びにシソーラスを開発したので報告する。

2. 絵馬のデジタル・アーカイブの課題

昭和59年に県立博物館の調査依頼の時と異なり、調査時から28年という月日は、神社・寺社の置かれている環境が大きく変わってきている。

昭和50年代では、まだ地域の中にあっても、神社・寺社は守られて来ていたが、近年は行政の枠組み、合併等で、地域のコミュニティーの場であった神社・寺社は現在ではコミュニティーの場ではなくなって来ている、これらのことから、地域のコミュニティーの場は、公民館から、コミュニティーセンターとかわり、神社・寺社は地域の中で、ひっそりとたたずんでいる。

また、特に神社の維持は、氏子だけではできなくなって来ており、地域全体で守っていく方向に進んでいる、地域に宮司がいない神社が増え、一人の宮司が幾つもの神社の宮司を勤めているのが現状である。

現に悉皆調査を行なってきているが、宮司のいない神社では、地域の方が立ち会って行なうために一度での調査が無理な場合があり、2度、3度と足を運ばないと調査ができなくなってきている現状である。

また、奉納されている絵馬も、庄内には明治時代に奉納されているものが多く、また、多くは板額に絵馬を描いた紙を貼り付けて奉納しているものである。また、1,00年を超える絵馬が多いことから、絵馬を描いた紙が劣化してきてきたり、絵馬の彩色も失われて来ている。このことから、早期の調査が望まれる。

また、前述の昭和58年「山形県の絵馬」を県立博物館の調査依頼で、庄内地区（最上川から北の地区）を担当したが、この調査は、山形県内を8ブロックに分け、約50人の調査員（調査員、補助員、教育委員会含む）が、調査期間を決めて実施したものである。そこで、今回の絵馬調査に関するデータベース項目の構築に向けて纏めるために、県立博物館に収めて

ある、調査資料を借用することになり、県立博物館を訪ねたところ、すべての調査資料すべてが、廃棄されていることを知ると同時に、調査に関わった方が納めた2,083点の山形県の絵馬資料を失ったことを知る。

また、その時に制作した「山形県の絵馬」の冊子の保管数を訊ねると、1冊だけ残っている言う現状であった。せめて10冊ぐらいは保管していただきたいと考える。残部の冊子がなければ、山形県の絵馬の記録を全て失うところであった。

また、酒田市の資料館においても、資料の管理が不十分で、昭和59年に調査した時の庄内の絵馬（最上川から北の地区）に関する、文字情報と862点分の写真ネガを収めているが、現在その資料が何処に保管されているかわからない現状でいまだに発見に至っていない。

県立博物館・資料館も調査した内容などについては、その時は管理するが、時がたつにつれて、資料自体が古くなり、また、管理する担当者が移動などでは保管場所が変更になり、組織改編がある度に、貴重な資料や映像が紛失する。このような例は、他の自治体にもあり、自治体にアーカイブ化し、パブリックドメインとして、記録するという概念がないのが原因と考えられる。

また、学芸員や担当職員に資料を評価し、管理していく力が、これからのデジタル・アーキピストへの課題であると考察する。

これらのことから筆者は、失われた山形県の絵馬に関する調査資料すべては無理でも、以前調査した庄内に残る絵馬を、再度悉皆調査することを計画し、近年絵馬の展示などを行なっている。また、博物館・文書館・歴史資料館などに、調査する際に使用している記録用紙を入手し検証したことから、各施設での調査記録・項目は単独で開発したものを使用しているため、記録項目が標準化されていないこと、調査項目の整備がされていないことが原因と考えている。今回の調査にあたり、絵馬調査用データベースに対して、データベース項目及びシソーラス項目を整備し再構築することで、絵馬の調査時において、共通のデータベース項目で調査を実施する環境をと整えることが、今後の課題と考えた。そこで、今回開発したデータベース項目により再悉皆調査の上、記録し、絵馬について、21世紀に残せる資料としてデータベースを構築する。

3. 絵馬のデータベース項目

今回開発した絵馬のデータベース項目について図2, 3のように構築した。項目は、全部で42項目となり、絵馬1枚当たり42項目の情報を記録する。また、写真についても、デジタル一眼レフでなるべく高品位な映像を記録し、データベースに登録することにした。

絵馬の奉納してある神社・寺社の正面からの撮影、絵馬の正面から撮影、絵馬の裏面の撮影、特に沢山奉納してある神社・寺社については、どのように展示してあるか分かる様に、全方向撮影にて記録した。その他、記録することが必要な項目の主なものを示す。

(1) オーラル・ヒストリーの記録

沢山絵馬が奉納されている神社・寺社や、貴重な絵馬が奉納されている神社・寺社がどのように管理・保存してきたか、また、どのように伝承していくのかなどについて、神社の宮司等に直接インタビューをし、記録として残していく。(図3)

文化資料収集データベース記録項目 (絵馬調査用)

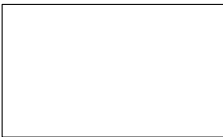


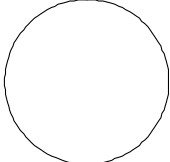
① 資料コード		 <p>⑮ 静止画 A</p>
② 調査番号		
③ 所在地		
④ 奉納場所		
⑤ 作者		
⑥ 奉納者		
⑦ 材質	板・紙・布・漆・現物 その他 ()	 <p>⑯ 静止画 B</p>
⑧ 寸法	外径 縦 () × 横 () 内径 縦 () × 横 ()	
⑨ 彩色	有 無	
⑩ 奉納年月日 (西暦)		 <p>⑰ 静止画 C</p>
⑪ 内容分類 (画題)	馬 動物 魚 鳥 社寺 鳥居 剣 参詣 講 (観音講など) 祭 祈願 (健康、乳、目など) 野菜 生産 産業 風景 風格 故事 説話 歌舞伎 (役者を含む) 武者 武芸 相撲 神仏並びに 供養 (ムカサリ・子供など) 嘗属 船 漁業 その他	
⑫ 分類コード (カテゴリー番号)		
⑬ 索引語	資料にて索引を10語以内で記入する。	
⑭ 説明		 <p>⑱ (360° 全方向撮影)</p>

図2 絵馬の基本情報記録項目

(2) GPS情報の記録と方位の記録

近年行政の枠組みの変化から、市町村合併により、旧市町村名から新たな市町村名に変更さ

れ、昭和59年頃の市町村名が失われてしまっている。そこで、GPS (Global Positioning System: 地球上の現在位置を調べるための衛星測位システム) の一種で、全地球測位システム、汎地球測位システム) による、緯度・経度・方位により位置を測定し記録を行う。(図2)

(3) 所在地の記録

絵馬の奉納されている場所を所在地として記録する。できれば、旧市町村名や絵馬の所在履歴、絵馬の展示場所等を記録することが必要である。

4. 絵馬調査用データベースの記録項目

(1) 基本情報

- ① 資料コード
資料管理全体を通して定めた各資料の番号を記入
- ② 調査番号
絵馬調査に伴い各絵馬の調査番号を記入
- ③ 所在地
資料が存在する場所の県・市町村等住所を記入
- ④ 奉納場所
絵馬の奉納してある神社・寺社名を記入
- ⑤ 作者
絵馬を描いた絵師がわかる場合に記入
- ⑥ 対象者名 (奉納者名)
絵馬を神社・寺社に奉納した人の名前を記入
- ⑦ 材質
奉納してある絵馬の材質を記入
- ⑧ 寸法
絵馬の寸法
- ⑨ 彩色
奉納してある絵馬は彩色の有・無を記入
- ⑩ 奉納年月日 (西暦)
奉納している絵馬から奉納年月日が分かる場合記入
- ⑪ 内容分類
奉納している絵馬の描かれている絵を記入
- ⑫ 分類コード
各資料についての内容コードを整理
- ⑬ 索引語
資料について索引を10語以内で記入
(注) シソーラスが用意されている分野では、それらの用語を選択して記入する。
- ⑭ 説明
簡単な説明を記入
(注) シソーラスが用意されている分野では、それら

の用語を選択して記入する。

- ⑮ 静止画A
絵馬の表，静止画（デジタル写真）
- ⑯ 静止画B
絵馬の裏，静止画（デジタル写真）
- ⑰ 静止画C
奉納されている神社・寺社の正面，静止画（デジタル写真）
- ⑱ 全方向360° 撮影
絵馬の奉納枚数が多い神社・寺社については360°全方向撮影で奉納している状態を見られるように記録

- ⑳ 利用制限
原資料を提供できる場所・利用分野の制限が必要なときの制限を記入
- ㉑ 利用条件
原資料を利用する場合の条件を記入
- ㉒ 紹介施設
資料の所蔵場所・地域施設など記入
- ㉓ 撮影月日
調査した絵馬の撮影日等を記入
- ㉔ 資料の評価
資料を価値判断し，今後の利用，保存年限などの資料情報を記入

（3）オーラル・ヒストリー情報

（オーラル・ヒストリーについては，すべて実施するのではなく選別された中から必要と思われるものについて実施する。）

- ㉕ 記録月日
オーラル・ヒストリーを行った月日を記入
- ㉖ 記録場所
オーラル・ヒストリーを実施した場所を記入
- ㉗ 記録の種類
オーラル・ヒストリーする場合の手法等，ハイビジョン，ビデオ，静止画（デジタルカメラ）等を記入
- ㉘ 発表者氏名
発表者の氏名を記入
- ㉙ 発表者の経歴
発表者の経歴を記入
- ㉚ 記録者氏名
オーラル・ヒストリーを記録した氏名を記入
- ㉛ オーラル・ヒストリー資料コード
オーラル・ヒストリーを実施し記録した資料にコード番号で記入
- ㉜ 紹介施設
オーラル・ヒストリー資料の所蔵場所・地域施設などを記入
- ㉝ 利用条件
原資料を利用する場合の条件を記入
- ㉞ 文化財指定の有無
調査する絵馬が国・県・市の文化財指定を受けている時に記入
- ㉟ 契約に関する確保
絵馬のデジタル・アーカイブルで契約を交わしているかの有無を記入
- ㊱ MEMO
調査時に気付いたことを記入

GPS 情報		オーラル・ヒストリー情報	
⑲ 測定月日	緯度 経度 方位 高度	㉕ 記録月日	
㉑ 利用制限		㉖ 記録場所	
㉑ 登録者		㉗ 記録の種類	
㉑ 著作権（全体）		㉘ 発表者氏名	
㉑ 所有者		㉙ 発表者経歴	
㉑ 利用制限		㉚ 記録者氏名	
㉑ 利用条件		㉛ オーラル・ヒストリー資料コード	
㉒ 紹介施設		㉜ 紹介施設	
㉓ 撮影月日		㉝ 利用条件	
㉔ 資料評価			
㉞ 文化財指定有無	国・県・市・文化財指定等	指定名	
㉟ 契約に関する記入			
㊱ MEMO			

図3 GPS並びにオーラル・ヒストリー情報

（2）GPS情報

- ⑲ 測定月日
GPSによる位置情報測定月日等を記入
（近年各地域において新しい行政の枠組みができ市町村名の変更があるためGPSによる位置を測定し管理する。）
- ⑳ 利用制限
県立博物館，酒田市資料館，会員内，指定された市町村，地域内などの提供できる場所の制限を記入
- ㉑ 登録者
データベースを記録者名を記入する。
- ㉑ 著作権（全体）
全体にかかわる著作権をもつ団体・個人を記入
- ㉑ 所有者

5. シソーラスの構築

シソーラス (Thesaurus) とは、単語の上位/下位関係、部分/全体関係、同義関係、類義関係などによって単語を分類し、体系づけた辞書のことで、絵馬の索引語や説明を記入するときに必要となるものである。絵馬の「図柄」という語を使っている記事を同じ意味の「デザイン」という語で検索しても、これまでの多くのデータベースでは検索できない。この橋渡しをして検索できるようにするためには、「図柄」と「デザイン」とは同じ意味であると語を意味によって整理してある辞書が必要になる。この辞書をシソーラスと呼ぶ。普通辞書は語をアルファベットや五十音順で整理してあるが、シソーラスとは意味で整理した辞書である。検索して記事が見つからなかったときや、逆に検索された記事が多すぎたときにより適当な検索キーを探すためにシソーラスを使う。

今回、絵馬のシソーラスを図5のように構築した。

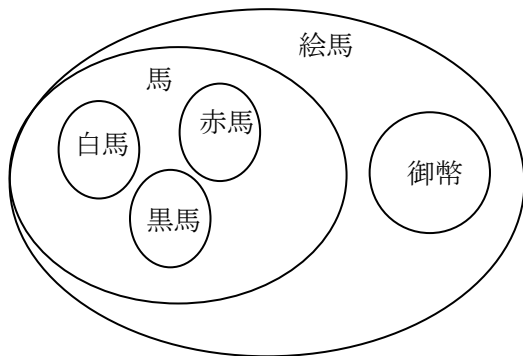


図4 絵馬におけるシソーラスの概念

6. 今後の研究課題

現在絵馬用データベース項目・シソーラス内容項目を構築したが、絵馬用データベースを完成させ更なる構築を図り統一して行く。

絵馬の奉納されている神社・寺社の保存状態や変色する絵馬の色についての情報、また、天井画や狛犬などについても記録を残していく必要があると考察する。

また、調査にあたってのプロセスについても今後研究を進めるうえで、アーカイブ研究会等で、発表していきたいと考える。

7. おわりに

絵馬収集を通じてフィールド・ワーク(野外調査)における調査・研究活動の一連の流れは

カテゴリー番号	カテゴリー	絵柄	いのりのかたち	収録語数
		柿持猿	子授け・安産	
		桃持猿	同上	
		三猿	同上	
6	猫	猫	猫淵神社(岩手)神使・不動尊(宮城)の使い・つきもの落とし・養蚕の鼠除け・猫探し(福荷社へ)・その他一切	
		目なし猫	猫探し	
7	狐	狐	福荷大社神使・眷属・五穀豊穰・商売繁昌	
		向かい狐	豊作・厄除け	
		飛び狐	豊作・商売繁昌・子授け・婦人病平癒	
		二匹狐	男女両性を表す・婦人病平癒	
		鍵くわえ狐	鍵は蔵を開き財宝を得る幸運の鍵の意・子宝・くわえるのが鍵	
8	蛇	蛇	弁財天・聖天の使い・出雲大社神使・諏訪神社神使(青大将)芸事上達・良縁・商売繁昌・養蚕・諸病平癒	
9	百足	百足	毘沙門に使い・赤城神社神使・商売繁昌・毒虫除け・養蚕繁栄	
10	犬(戌)	犬	諸願	
11	亥	亥	同上	
12	竜	竜	同上	
13	寅	寅	諸願・家出入の掃宅	
14	鼠(子)	鼠	大黒天の使い・子年生まれの者身体堅固	
		向かい鼠	門口を守る	
15	狸	狸	諸病一切の除け・家業繁栄(大阪)	
16	蛙	蛙		
		蝦蟇蛙	天神の使い(千葉市川)	
		ひき蛙	福荷神の乗り物(千葉)・神使馬	

図5 絵馬シソーラスの内容項目(一部)

重要な活動である。今回のように計画の立案、調査の実施、収集資料の整理・分析、保存・活用などの研究の一連の流れを実際に行うことにより、デジタル・アーカイブ化するプロセスを記録することができた。

本研究の目的の一つは、絵馬の形態・図柄を比較することによって、地域文化の地域ごとの変異・特色を探ることにある。鳥居や狛犬などの石造物、社殿についても写真撮影・築造年代などの記録をとり、地域文化の比較研究材料とすべく資料を蓄積する計画である。さらに、収集資料をデジタル・アーカイブとして記録し、調査・研究成果の公表を計画している。

今回、フィールドワークを実施する場所が、神社という日本古来の信仰の場でもあるため、日常では気づくことの少ない、日本文化の一側面についても認識を深めていきたいと考えている。今回のシソーラスやデータベース項目について、岐阜女子大学の後藤忠彦学長に有益なご指示を頂いた。ここに感謝の意を表す。

また、絵馬調査用シソーラス内容項目について、元帝塚山大学学長、岩井宏実先生の著書「絵馬」から内容項目を書き出し、岩井先生からのご指示を頂いたことを紙面にて、感謝申し上げます。

ます。

文化資料収集データベース記録項目（絵馬調査用）

① 資料コード	YZ000-0001
② 調査番号	YZ001- 1
③ 所在地	山形県遊佐町青塚地区
④ 奉納場所	諏訪神社
⑤ 作者	
⑥ 奉納者	青塚亀藏
⑦ 材質	板・ <input checked="" type="checkbox"/> 紙・布・漆・現物 その他（ ）
⑧ 寸法	外径 縦（42）×横（31） 内径 縦（34.5）×横（24）
⑨ 彩色	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無
⑩ 奉納年月日（西暦）	明治廿貳年
⑪ 内容分類（画題）	馬 動物 魚 鳥 社寺 鳥 居 剣 参詣 講（観音講など） 祭 祈願（健康、乳、目など） 野菜 生産 産業 風景 風格 故 事 説話 歌舞伎（役者を含む） 武者 武芸 相撲 神仏並び に 供養（ムカサリ・子供など） 眷属 <input checked="" type="checkbox"/> 船 漁業 その他
⑫ 分類コード （カテゴリー番号）	52
⑬ 索引語	資料にて索引を10語以内で記入する。 船
	年号 明治
⑭ 説明	長福丸 （出船）



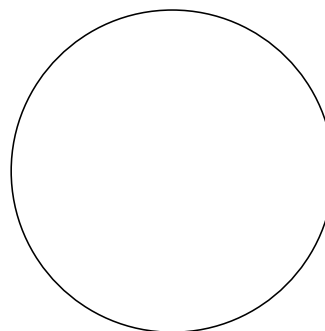
⑮ 静止画 A



⑯ 静止画 B



⑰ 静止画 C



⑱ 動画A（360°全方向撮影）